

# 東日本大震災 全日本民医連支援ニュース

現地の仲間・住民と連帯し「民医連ここにあり」の心意気でともに力を合わせて頑張りましょう！

NO. 15 2011. 3. 22 20:00 発 全日本民医連対策本部

Mail : taisaku-honbu@min-iren. gr. jp

## ◇すべての被災事業所への支援を◇

全日本民医連は本日、藤末会長も出席して臨時に事務局長・次長会議を行い、今後の宮城支援について、坂病院・長町病院・松島海岸診療所に必要な支援が入るよう、検討しました。また、介護支援について、宮城野の里（高齢者福祉施設）を中心に、具体化をはかることとしました。4月2日（土）、緊急に全日本民医連理事会を開催し、今後の方針を確認します。（それまでは従来通り、宮城支援は坂病院を拠点とします。）

### 現地支援に入る方へお願い！

#### ◇支援者に持参していただきたい医療用具について

① 血圧計、聴診器、体温計、サチュレーションモニター

（これまで坂クリニックのものを使用していましたが、現地が通常の外来診療に移行するため、支援者に持参いただけるとありがたいです）

② 薬剤師の方は、ポケット医薬品集。

#### ◇支援者の生活用品の持参について

① 炊き出しができるようになっていきます。食糧は2食分程度をご持参下さい。副食・おやつなどは、各自の判断で。

② 飲料水については、ご自分の滞在期間の分はご持参下さい。

③ 資源の節約、ゴミ問題から、マイ箸、再利用可能なコップ、お皿、そして食器洗剤などは持参してください。

④ シャワーを浴びることは可能です。トイレトペーパーはありますが、ティッシュペーパーは持参してください。洗濯はまだできません。

### 福島原発事故 避難圏域の人たちの生活を支える取り組みを！

福島第一原発事故により、20km 圏内の人たちが近県に大勢避難しています。しかし、避難所の状況は劣悪です。たとえばさいたまスーパーアリーナの状況は、一定の機能が維持されているとはいうものの、廊下にびっしりとダンボールエリアと人、人、人。食事の配給に200人も300人も並んでおり、とても高齢者や身体の弱った人が配給を受けられる状況にはありません。この状態が一週間も続けば、殺伐としたストレスフルな環境になっていくことは必至です。「救護室」もありますが、地下に階段で下りて行かなければたどり着けない。表向きは「人も物も足りている」と言われているが、実際の状況は深刻です。さらに、この方たちは原発事故の状況変化に合わせて度重なる避難生活を強いられています。

**原発事故の避難者が、安心して暮らせる住まいの確保が切実に求められています。**

**各県で、公営住宅の空室を提供するなど避難者の住まいの確保、仕事の確保を進める施策を早急にとるよう、訴えていきましょう。各県のホームページで状況を把握し、要求していきましょう。**

**支援者到達：800人を超えました（医師170超）！ 述べ人数3439！**

**支援募金到達：2950万を超えました！**

## ◇全日本民医連支援ニュースの活用をお願いします◇

☆状況は刻々と変わります。各県連におかれましては、各事業所にリアルタイムに転送をお願いします。